

経営比較分析表（令和4年度決算）

静岡県 伊豆市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	95.61	8.06	73.93	2,728

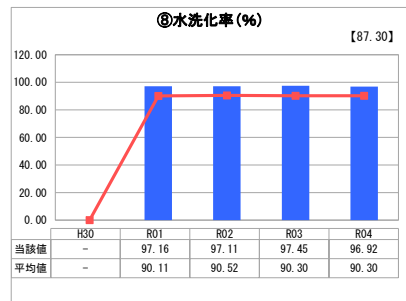
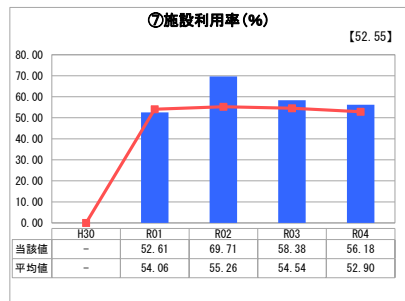
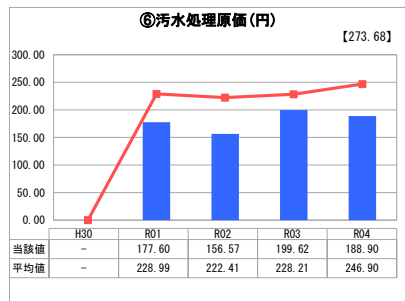
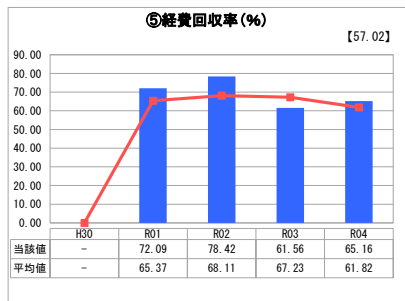
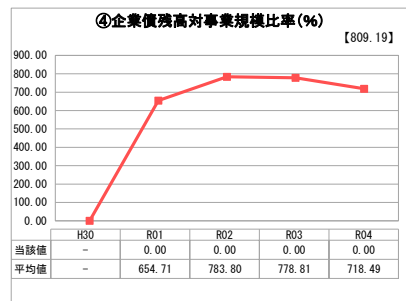
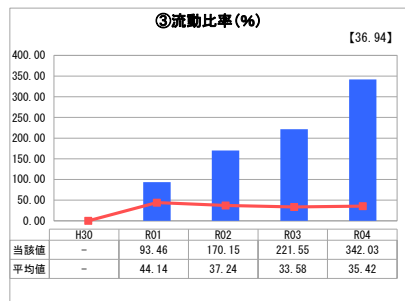
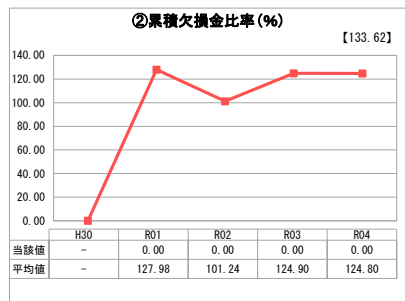
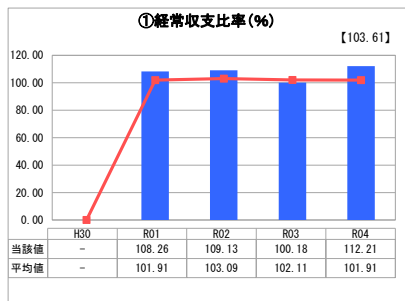
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,872	363.97	79.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,304	1.39	1,657.55

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

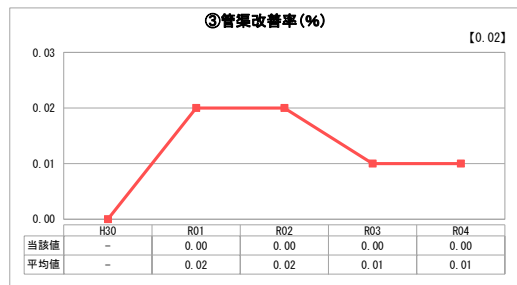
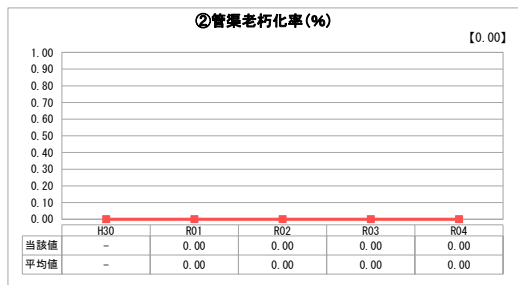
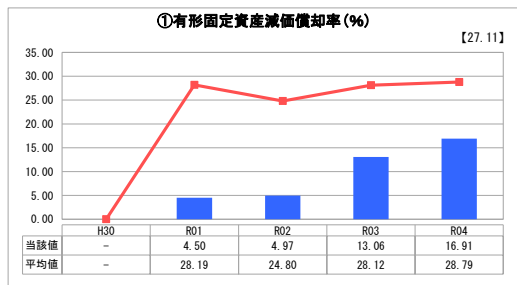
1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度より地方公営企業会計へ移行したため、数値は4年度分となっている。
 当該事業の処理区はそれぞれ処理場を有する5処理区となっており、面整備は全て完了済み。H22年度以降の借入以降、新規の起債借入はない。
 ① 収益的収支比率は、100%を上回り黒字状態となっているが、一般会計からの繰入金もあるので、是正していく必要がある。
 ② 累積欠損金比率は、欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率は、100%を上回っているが、将来、償還・返済の原資を使用料収入等により補填出来るようにする。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、一般会計繰入金を反映させたため、当該値が0となっている。
 ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回っているものの、一般会計からの繰入金で賄っている状況を踏まえこれからも使用料金等しっかり回収していく。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているが、これからも施設維持等に係る経費の見直しを行い改善していく。
 ⑦ 施設使用率は、類似団体平均より上回っているものの、人口減少による水量減少が見込まれており、施設統合等を進捗させていく予定である。
 ⑧ 水洗化率の割合は類似団体平均を上回っているものの、未接続解消に努めていく。

2. 老朽化の状況について

処理場については、不具合が確認された場合は修繕を行っている。H30から4処理場の機能診断を行った。施設統合も含め計画的な対策を実施していく予定である。
 ③ 管渠改善率は現在、公共下水道を優先しているが、農業集落排水でも不明水が多く、築年数の経過しているエリア等、調査を実施していく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後、農業集落排水事業の公共下水道への統合など汚水処理の効率化を進める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。